

■ 北欧諸国の飛躍（TBSラジオ「日本全国8時です」2006. 12. 28）

これからいくつかの科学の問題を出します。お聞きの皆さんは○×で正解をお考えください。

第一問：地球の中心は非常に高温である。正解は○で、6000℃程度と推定されています。

第二問：すべての放射能は人工的な産物である。正解は×で、19世紀末にベクレルがウランを、キュリー夫妻がポロニウムを発見して以来、放射能を出す多数の天然の物質が発見されています。

第三問：大陸は何万年単位で移動し今後も移動する。正解は○で、ドイツのアルフレート・ウェーゲナーが1915年に『大陸と海洋の起源』という本で発表し、当初は懐疑的に受け取られていましたが、現在のプレートテクトニクス理論は、これを背景にしています。

もう一問続けたいと思います。初期の人類は恐竜時代に生存していた。正解は×です。恐竜は6500万年前に絶滅したと推定されていますが、最初の人類の遠い祖先である猿人が登場したのは600～800万年前ですから、まったく時代が違います。

これはどのような意図の質問かというと、EUの加盟国と候補国の大人を対象にして2001年から2002年にかけて、各国の科学技術の基礎概念についての理解度を確かめるために行われた調査で、全部で11問の質問がありました。

EUの平均点が58点でしたが、日本は平均以下の54点で13番目でした。そして上位を見ると、一位がスウェーデンで73点、2位がオランダで68点、3位がフィンランドとデンマークで67点、そして5位がアメリカで63点でした。

注目して頂きたいのは、5位までのうち北欧諸国が3カ国入っていることです。

これは偶然ではなく、最近の国際比較の順位を調べてみると、北欧諸国が圧倒的な力を誇っています。

いくつかをご紹介しますと、世界経済フォーラム（WEF）が今年発表した経済競争力では、2位フィンランド、3位スウェーデン、4位デンマーク（日本7位）、ですし、経営開発協会（IMD）の順位でも、3位アイスランド、4位デンマーク、9位フィンランド、11位ノルウェー、13位スウェーデン（日本15位）という状態です。

このような評価だけではなく、実際の経済力でも、一人あたりGDPは、2位ノルウェー、3位アイスランド、6位デンマーク、8位スウェーデン、10位フィンランド（日本13位）です。

この背景にはいくつかの要因がありますが、第一は情報社会基盤を逸早く整備したことです。

コンピュータの普及率は、アメリカには及ばないものの、2位スウェーデン、3位

デンマーク、5位ノルウェー、6位アイスランド、10位フィンランド(日本20位)、インターネットの普及率は、1位アイスランド、2位スウェーデン、3位デンマーク、5位ノルウェー、8位フィンランド(日本7位)と上位を独占です。

それを象徴しているのがフィンランドの携帯電話製造会社ノキアで世界の携帯電話の34%を生産しています。

第2は非常に透明な国だということです。これも時々紹介していますが、トランスペアレンシー・インターナショナルという組織が発表する汚職や腐敗のない順位では、1位フィンランド、2位アイスランド、4位デンマーク、6位スウェーデン、8位ノルウェー(日本16位)ですし、政府の政策が透明かどうかの評価も1位デンマーク、2位フィンランド、3位アイスランド、4位ノルウェー(日本24位)と上位を北欧諸国が独占です。

知事が次々に逮捕され、政治家や官僚が特権を乱用している日本と比べると極めて対照的だと思います。

もう一つの理由が女性の活躍している国だということです。

国連開発計画が発表する女性が社会でどれだけ活躍しているかという指標があります。これは男女が完全に対等の場合が1・0で、差があるほど数字が小さくなります。

これは1位ノルウェー、2位デンマーク、3位スウェーデン、4位アイスランド、5位フィンランド(日本43位)と上位独占です。

その計算根拠の一つである女性国会議員の比率でも、2位から4位までが北欧諸国で、スウェーデンでは45%、他の国々も30%台ですが、日本は7%で98位です。

実際、北欧諸国では女性の政治家が活躍しており、ノルウェーではグロ・ハルレム・ブルントラントが1981年に最初の女性首相になり、1996年まで何度か首相を務めていました。

フィンランドでも2000年にタルヤ・ハロネンが初めての女性大統領になり、今年再選されています。さらに現在の内閣では17名の大臣のうち8名と半数近くが女性です。

女性の活躍と社会の発展との構造的な因果関係は明確ではありませんが、現象的には明確に関連しています。

今年の漢字は「命」が選ばれましたが、その命を誕生させるのは女性です。来年はぜひ「女」という漢字が選ばれ、古代より「女ならでは夜の明けぬ国」といわれた日本が女性の躍進によって発展することを期待したいと思っております。